

新春対談

目標に向かって進む日々を

令和6年最初のめぐる区報は、目黒区名誉区民であり、福岡ソフトバンクホークス会長である王貞治氏(以下、王会長)と区長の対談をお届けします。ホームランの世界記録保持者で、第1回WBC(ワールド・ベースボール・クラシック。野球の世界一決定戦)の優勝監督でもある王会長に、新たな年を迎え、さらに力強く前に進もうとする区民へのエールをいただきました。

図広報課 ☎5722-9486、☎5722-8674

令和5年を振り返って

区長 あけましておめでとうございます。新しい年のスタートに、目黒区名誉区民である王会長をお招きしました。めぐる区報新春号には、名誉区民になられてから13年ぶりのご登場になります(4面参考)。

王会長 あけましておめでとうございます。本日はよろしく願いいたします。

区長 まずは、昨年を振り返りたいと思います。5月8日にコロナの感染症法上の位置付けが2類から5類に移ったことで、まちにもにぎわいが戻ってきました。

個人的には、大きな病気がなく区政にまい進できました。健康の秘訣は365日行っている朝のラジオ体操だと思っています。区長としては、今年も区民の皆さんの健康増進に、しっかり取り組んでいきます。

王会長は、昨年はどのような年でしたでしょうか。

王会長 やはり、春に行われたWBCが印象に残っています。かつてない注目を集めた大会で、大谷翔平選手をはじめ、選手たちが素晴らしい活躍してくれました。日本中が優勝を期待して見ていた中で、本当に優勝を勝ち取ったのはすごいことです。WBC優勝の勢いが、そのまま日本野球界にも追い風になり、シーズンを通じて大変盛り上がったと思います。

区長 メジャーリーグでも、日本の選手たちが躍動しましたね。

王会長 私が現役だった頃は、メジャーリーグでプレーすることは、まだ遠い夢でした。その後、野茂投手がパイオニアとなり、イチロー選手や松井選手らが続きました。私たちの時代は、アメリカの選手との体格差もありましたし、相手を仰ぎ見るようにプレーをしていましたが、今は大谷選手のように日本人選手の体も大きくなり、対等にプレーしています。日本とアメリカというよりも、AチームとBチームが戦っている、と純粹に見ることができます。日本人選手が一つ一つ階段を上り、野球のレベルも精神力も高くなっていったんですね。アメリカでチャレンジして大活躍してくれる日本の選手がもっと出てきてほしいです。

区長 王会長は、野球という天職に巡り合い、長く活躍され、今なお現場に立ち続けていらっしゃいます。野球との出会いを振り返るといかがでしょうか。

王会長 私はどちらかという飽きっぽく、持続性がないんです。でも野球だけは本当に飽きない。もう80歳を超えていますが、野球をやっている時は「やはり野球人だ」と皆さんから言われます。野球との縁は幸運な巡り合いだったのでしょうか。子どもの頃、周りで野球をしている人を見て、自分も始め、続けているうちにもっとやりたい、うまくやりたいという気持ちになっていきました。高校時代は、1回でいいから行きたいと思っていた甲子園に、私は4回行けたんです。私は案外いいかげんなどころがあります。野球だけは目標を持って突き詰められた。野球との出会いに心から感謝しています。

目黒区とのかかわりと思い出

区長 今は福岡に居を構えていらっしゃいますが、それまでは約40年間目黒におられました。目黒区との関わりや思い出などお話しただけですでしょうか。

王会長 目黒区には本当に長年お世話になりました。大変住み心地のいいまちだと思っています。私は区役所の手続きなどは全部自分でするので、区役所の皆さんにもお世話になりました。今は区民でなくなってしまったので、残念なことをしたと思っています。

区長 王会長には、長きにわたり本区の啓発事業・区政の進展に貢献していただきました。平成22年には名誉区民になっていただき、また、この年には少年野球の大会「名誉区民王貞治杯」を創設しました。今でも子どもたちが優勝を目指して一生懸命練習をしています。



王会長が世界新記録となるホームラン756号を打った時のことは、当時大学生でしたが、今でもよく覚えています。記録達成の翌朝、ファンのかたが区内のご自宅前に大勢詰めかけたテレビ映像を見たことがあります。

王会長 私の家は出入り口が1カ所しかなかったので、並んでいるファンのかたへのサインを終えないと家に入れませんし、球場に行けないこともありました。時間がかかって少し苦労したこともありますが、我々のような仕事をしている、あれだけファンのかたが来てくれるというのはうれしいことです。

区長 目黒区に住まれていかがでしたか。

王会長 自宅のすぐそばにあった中根公園へ散歩に行くと、お母さんと子どもさんが遊ぶ姿に心が休まることもありました。子育ての地としてもとてもよかったです。坂も好きでしたね。アップダウンがあって、ランニングなどをするといい運動にもなりました。目黒区は方角がいいなと思って住んでいたのですが、プロ野球選手を続けていく上で追い風となる土地に住めたことは、運がよかったと思っています。

目黒区名誉区民
福岡ソフトバンクホークス取締役会長

王 貞 治

目標を持って
一つ一つ積み重ねる。
それが大切ですね

昭和15年生まれ。早稲田実業高校卒業後、読売ジャイアンツに入団。一本足打法の打者として活躍し、昭和52年に756本塁打で世界記録を達成、第1回国民栄誉賞を受賞。平成22年10月に目黒区名誉区民となり、同年11月には文化功労者に選ばれる。

目黒区長

青木 英二

区民の皆さんにずっと
住んでいただけるよう
ベストをつくします

目黒区原町生まれ。目黒区議会議員、東京都議会議員を経て平成16年目黒区長に就任。



にできることをやればよいと思います。ある程度自分の体に負荷をかけないと衰えてしまいます。自分の力で歩いていたいし、何でもしたいです。

区長 区民の皆さんに一言お願いします。

王会長 まず私としては、この3年間、チームが日本シリーズに出られませんでした。日本シリーズに出られないということは、日本一になれないということ。今年はファンのかたも日本一を待ち望んでいるでしょうし、自分たちもそれを目標にしています。そのためにはモチベーションが必要なので、選手たちには自分の将来像を描いて希望を持ってもらえるようにしたいと思っています。

目黒の皆さんも、新しい年の最初にまずは目標を立て、モチベーションを持っていただければいいと思います。達成可能かどうかはともかく、目標を達成しようという思いがあれば毎日元気でいられるし、目標がないと無駄な時間を使うことになりませんから、目標はとて大事です。

区長 王会長は辰年生まれだと伺っていますが、どのような1年にしたいと考えていますか。

王会長 そうですね、自分なりに都合よく解釈して、今年は自分の年だと思って、力強く前に進んでいきたいと思っています。

区長 私からも区民の皆さんにごあいさつ申し上げます。昨年は、区政発展にご理解ご協力をいただき、ありがとうございました。

ここで今年も短歌を披露させていただきたいと思います。



犯罪も
コロナも減らす二刀流
今年も目指す良き街
めぐる

昨年実施の世論調査では、95.6%の区民が目黒に住み続けたいと思っているという、23区トップクラスの結果となりました。引き続き、住み続けたいと思っていただけるまちづくりをしていきたいと思っています。そして、区民の皆さんの今年1年のご多幸をお祈りしまして、新年のメッセージとさせていただきます。王会長、本日はありがとうございました。